

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年9月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673300077
法人名	有限会社 あおぞら
事業所名	グループホーム あおぞら
所在地	鹿児島県日置市日吉町日置478 (電話) 099-292-2034
自己評価作成日	平成29年7月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年8月26日(土)

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅の中にあり、緑も多くまた車の交通量も少なく安心してゆっくり生活のできる環境です。  
比較的地域の行事が多い地域で利用者・職員ともに地域の一員として楽しく参加させて頂いております。また、地域住民のボランティアを中心に訪問受け入れを行い、御家族や知人等の馴染みの関係を保つようにしています。  
去年よりあおぞら農園を再開し利用者(ご家族)から野菜の作り方を教えて頂きながら一緒に栽培・収穫を楽しんでおります。  
利用者・家族・職員が笑顔になれるホーム作りをしていきたいと思っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ホームは、市中心地の閑静な住宅街に位置しており、周辺には、小学校や書店、スーパーマーケット、ガソリンスタンドや金融機関がある。
- 自治会に加入し、地域の方がホームの畑の草払いを手伝って下さったり、職員が総会や清掃活動に参加したり、住民から採れたての野菜や魚を差し入れていただくことがある。また、子ども会によるボランティアや中学校の職場体験を受入れたり、地域行事(運動会・敬老会など)などに招かれ積極的に交流している。中でも地域のお祭り「せつべとべ」や「太鼓踊り」は、ホームの庭先まで踊り連が来訪するのが恒例になっている。
- 「重度化した場合や看取りについての指針」があり、管理者や職員は早い段階から急変した場合や重度化し看取りに至るプロセスの中でケアの方向性を予め決めているが、今後、文書化することにより段階に応じた意志確認を明確にし、納得のいく決定が可能になるよう検討したいと考えている。
- 利用者は、ホームの庭先を散歩したり、職員と買い物に行ったりドライブして自宅周辺に出かけるなど個別の外出を楽しんでいる。また、玄関先のベンチに腰掛けて外気浴をしながら会話して穏やかに過ごしている。
- 代表者は、公私に至る悩みや相談、運営に関する意見や提案を聞く機会を設け、サービスの質の向上を図るよう努めている。職員は、月1回のミーティング後にユニット会議を開催したり勉強会を実施して自己研鑽している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼で職場の理念を輪読している。	理念は、パンフレットに掲載され朝礼で唱和し、日々、理念に沿ったケアの実践に向けて職員全員で取り組んでいる。また、管理者は、職員の意見を聞きながら、理念に触れる機会を増やしサービスの質の向上につながるよう検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事や学校行事など積極的に参加している。ボランティアの受け入れも行い交流している。	自治会に加入し、清掃活動への参加や地域の方から採れたての野菜や魚をいただいたり、ボランティア（踊り、歌など）や小学生との交流、中学生の職場体験学習の受け入れを積極的に実施しながら日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	小学生との交流、中学生の職場体験を受け入れ認知症を理解してもらうように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回に開催し、職員も参加し近況報告をして行政をはじめ、地域や家族からの意見やアドバイスを参考にしサービス向上につなげている。	会議では、参加メンバーから地域の情報提供や専門的な立場からの助言や協力依頼があり、質疑応答しながら事業所の取り組み内容や具体的な課題などを話し合い、地域の理解と支援を得るために、メンバーからのアドバイスを受けることができるなどの有意義な機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席して頂き、情報交換等行い協力関係を築いている。	市担当者や福祉事務所職員との協力体制があり、市からは地域活性化の観点から「地域の夏祭り」の開催を相談されたり、地域包括職員からは、市民参加型で取組む事業への協力を依頼され今年も利用者とともに参加する予定である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を開き職員間での情報交換をする。また、動きの多い時は気分転換に努め拘束しないケアを図っている。	玄関、門扉も施錠などせず自由に出入りし過ごせるよう配慮している。職員は、身体拘束についての内部・外部研修へ積極的に参加している。また、管理者は言葉による拘束や馴れ合いによる不適切な言葉使いに注意を払っており、職員にも身体拘束の弊害について正しく理解してもらうよう取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社外研修等で学ぶ機会を持ち、またトイレ・入浴等で身体チェック行い虐待の早期発見、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>受け入れ時は管理者やケアマネージャーが立会い説明をし、納得して頂いての契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しているが入ることがなく、日常の会話や面会時に要望等無いか聞いている。</p>	<p>家族は、ホームの取り組みに理解があり、意見や要望などは直接面談で話されたり、草払いに来てくださる方もおられるなど協力的である。管理者は玄関に、職員の移動が分かるよう掲示するなど工夫しているが、今後は、家族や来訪者に向けての情報発信を念頭に壁面の有効活用をしたいと考えている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング等で必要な物など管理者に報告し検討してもらっている。</p>	<p>運営者は、随時職員と個人面談したり、管理者がミーティングなどで意見や提案を聞く機会を設けている。職員の採用にも柔軟に取り組み、子育て世帯の働きやすい職場環境の整備、身体機能の低下への対応策として、入浴用椅子の購入や肘掛け付の椅子に変更するなど利用者が暮らしやすい生活環境を提供するよう努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員が働きやすい環境を作る為に、職員の状況を把握し話し合いの上就業環境の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりの力量を把握し、市や県の研修会に参加する機会を確保し、スキルアップできる様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会などに参加することで他の事業所と情報交換など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	お茶時間などゆっくりとした時間に話を傾聴し安心して生活できるよう寄り添っている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	面会に来られた時に心配事や不安などあればその都度対応し信頼関係を作れるよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人やご家族、情報提供書等から情報を収集し支援できることを考え対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員と一緒にできる事を行い、ご本人の趣味があればして頂き楽しく過ごせるよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診や外出など家族の時間がある時にして頂けるようお願いしともに支援できるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の要望あれば家族に伝え希望が実現できるように支援に努めている。	利用者オリジナルのアルバムがあり、これまでの自分史を職員と振り返ったり、友人や知人の来訪があり、電話の取次ぎ、手紙の代読、代筆などを支援している。また、行きつけの美容院に行かれる方や自宅周辺までドライブがてら外出される方もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にみんなでできる事を行い、声掛けし孤立しないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された家族にその後の現状を聞く為に連絡をとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中で本人の希望や意向を聞き取り、把握できるように努めている。	思いを言葉にうまくできない方もありますが、家族からの情報を参考にしたり、カンファレンスなどで職員全員が情報を共有し日々の暮らしの中で表情や言葉、行動などを通じて本人の思いや希望などを汲み取り本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にこれまでの生活習慣、既往歴等聞き取りを行い把握できるようにしている。また病院のサマリも活用しながら個人台帳作成している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	10時・15時とバイタルチェックを行い状態把握に努め、早期異常発見に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の状態や状況の変化、問題等発生した時はカンファレンスを行いご本人、家族の意見を聞き介護計画を作成している。	アセスメントノートがあり、職員全員で情報共有しており、介護記録に記載している。月1回、カンファレンスを開催し、現状の課題や目標の達成状況を踏まえ、サービス内容を見直しするなどモニタリングを実施、現状に合った介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の中で心身の状態など個人の介護記録に記入している。共有すべき連絡事項は申し送りノートを利用し情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて検討し取り組むようにしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーに職員と共に出かけている。また地産地相消を心掛けて活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人が通院していた病院や家族が希望された病院に定期受診（往診）をお願いしている。	隔週、訪問診療を受けておられる方や職員や家族の協力にて外来受診をして適切な医療を受けている。薬剤師が内服薬を届けてくれるため、薬の情報が得られるなど医療専門職との連携も図れ利用者、家族の安心感が得られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師と情報交換し定期的に受診、また往診を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>定期受診、往診時に主治医に報告し情報共有している。また入院となった場合情報提供書を渡している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応の仕方や終末期の支援について事前に家族と話し合いを行いケアの方向性を定めている。</p>	<p>「重度化した場合や看取りの指針」があり、実際に寝たきりの状態で重介護の方がおられ、介護、医療の両局面から支援を受けている。管理者は、看取りについては事業所の体制を踏まえて方向性を検討することも考えており、段階ごとに利用者や家族の意向を確認するため文書化を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の事故発生時はかかりつけ医へ連絡し指示をうけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防災訓練を行い、消防署立会いのもとでも実施している。また抜き打ちで防災訓練も行っている。</p>	<p>年2回、地震、火災を想定した避難訓練を実施、1回は自主訓練を実施している。訓練は、たまに抜き打ちで実施することもある。管理者は、地域の協力体制がないため、今後具体的な方策を検討したいと考えている。水、カップ麺などの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格やプライベート空間、他利用者との交流状態などその人のプライドを損ねない様している。	年間の研修計画にプライバシー保護の研修を計画し年1回実施している。面会者には、呼び鈴を押していただくなど理解を求めたり、利用者への呼びかけに失礼のないよう対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に寄り添い傾聴し声掛け見守りで対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の要望に沿ってその都度対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴や外出時、本人と一緒に衣類を選んでおしゃれを楽しんでもらうようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話の中から本人の好きなものを聞きだし、食事のメニューに取り入れたり、下準備や片付けを一緒にしている。	重度化もあり食事形態を工夫し食べやすく食事を提供したり、誕生日のリクエストメニューや行事食は、(運動会・敬老会など)家族と食卓を囲んで食事が楽しみになるよう配慮している。また、能力に応じてお手伝いをいただいたりし、らっきょう、梅干しなどの保存食を作っている。家族と一緒に外食を楽しまれる方がおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分チェック表を作り、個人情報の把握をし対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後本人に口腔ケアの声掛け、実施してもらい磨き残し等は職員が対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お茶・食事前等定期的に声掛けを行い、トイレ利用での排泄支援を行っている。	職員は排泄の自立支援にも熱心に取り組んでおり布の下着の方も多し。トイレには、扉内側にカーテンを設置しプライバシーに配慮している。また、おむつの使用量も減ってきており、家族にも記録を提示して説明し理解を得るよう取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の水分摂取量の把握と、排泄管理を行い頓服の下剤、坐薬を使用し個々に調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	各週3回入浴と定めているが、本人が希望されたときは入浴日ではなくても入れるよう対応している。	概ね週3回程度は入浴していただくよう取り組んでおり、入浴の順番は、利用者と話し合い決めているところだが、必要に応じて入浴していただくよう、利用者の希望やタイミングを図り個々に応じた入浴支援を実践している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調、生活習慣など、本人のペースに合わせて休息している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食後職員が管理し服薬している。変更などがあった時は申し送りノートを活用している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のレクリエーションでカレンダー作成や歌を唄う等を行っている。また個々の支援で台所・洗濯の手伝いや畑での野菜栽培で収穫の楽しみえを持っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人から希望が出た際は、家族また職員が本人の希望がとおる様に支援している。	毎日、散歩を日課としている方があり、買い物を兼ねて職員が同行したり、家族の協力を得て外出を楽しまれる方もある。また、地域行事（運動会や敬老会など）に参加される方もある。ドライブがてら近隣や自宅周辺に出かけることもあるが外出も個別化している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>年初めには近くのスーパーへ職員と買物に行かれたり、希望時には個別に外出し買物へ出かけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望により家族への連絡取次ぎを行っている。また手紙のやり取りは自由にされている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やフロアーに季節に応じた花を飾るなどして心地よい空間作りをしている。また、温度湿度管理も毎日行っている。</p>	<p>玄関はユニットごとに分かれ其々季節の生花が活けてある。ユニットを繋ぐ空間は、事務スペースで互いの職員が往来できる。天窓があり、採光があって掘りこたつのある和室、ソファに座り居心地よく過ごすことができる。利用者の様子が伺えるオープンキッチンなので、音や匂いが五感を刺激している家庭的な共有スペースである。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士が居室での会話を楽しめられている。また玄関にベンチを置き外気浴等自由にされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の方に相談し写真等を持ってきてもらい、家族をいつでも思い出させるように工夫している。</p>	<p>家族写真、アルバム、趣味の折り紙作品、ラジオ、椅子など馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。明るく、掃除が行き届いた清潔な居室である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>毎朝のモップ掛けや手すりの拭き掃除等建物内部の環境整備を一緒に行っている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない